

九州地区の7年7月住宅着工戸数

前年同月比4.1%減の6,283戸、大分県は32.9%増

国土交通省がまとめた令和7年7月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比4.1%減の6,283戸で、床面積は同1.9%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が19.4%増、佐賀県が11.2%増、長崎県が39.1%減、熊本県が44.3%減、大分県が32.9%増、宮崎県が12.7%減、鹿児島県が16%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年7月、令和6年7月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和7年7月	令和6年7月	前年対比(%)	令和7年7月	令和6年7月	前年対比(%)
福岡	3,170	2,655	119.4	233,282	200,281	116.5
佐賀	328	295	111.2	27,541	27,585	99.8
長崎	305	501	60.9	26,344	35,533	74.1
熊本	822	1,477	55.7	64,174	107,338	59.8
大分	755	568	132.9	56,530	42,151	134.1
宮崎	404	463	87.3	34,146	39,192	87.1
鹿児島	499	594	84.0	41,592	40,897	101.7
九州地区計	6,283	6,553	95.9	483,609	492,977	98.1
沖縄	781	955	81.8	55,397	68,427	81.0
山口	407	529	76.9	34,319	41,979	81.8
全国計	61,409	68,021	90.3	4,733,360	5,207,048	90.9